

2025年度

12月8日

〈高校〉帰国生 Honors 選考

## 日本語作文

帰国生  
①  
高校

帰国生  
①  
高校

### 注 意

- 1 試験開始の合図があるまで、この冊子の中を見てはいけません。
- 2 解答の下書きが必要なときは、この問題用紙の余白を利用しなさい。
- 3 解答用紙に、受験番号と氏名を書きなさい。
- 4 解答はすべて解答用紙に書きなさい。
- 5 試験終了後、問題用紙と解答用紙の両方を提出しなさい。
- 6 句読点、符号等は字数に数えなさい。
- 7 本文中には、問題作成のために省略や表現を変えたところがあります。

かえつ有明高等学校

# 二〇二五年度 〔高等学校〕帰国生入学試験【オナーズ選考】 日本語作文

二〇二四年十二月八日実施

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。（設問に字数指定がある場合は、句読点や符号も一字と数えます）

みなさんは「ポストトゥルース」という言葉をご存知でしょうか。『デジタル大辞泉』（小学館）によれば、「世論の形成において、客観的事実よりも感情的・個人的な意見のほうがり強い影響力をもつこと。受け入れがたい真実よりも個人の信念に合う虚偽が選択される状況をいう」とあります。

このような 傾向が進み、人々が事実の検証を軽んじて「感情任せ」に偏ってしまうと、誤った判断や、いわれなき誹謗中傷を引き起こす キケンが高まります。確かな情報リテラシーを身につけることによって、こうした悪しき フウチヨウには歯止めをかけなければなりません。

フェイクニュースに騙されないためには、自分のところに集まってきた情報をまずは疑ってみる事です。SNSやネットでなんとなく見ているニュースや情報が、過去の検索や閲覧の履歴に紐づけられて、知らず知らずのうちに「自分の考えに味方してくれる情報」や「自分の意見の補強材料となるデータ」ばかりをAIが集め、それを閲覧している可能性があるからです。あえて正反対の立場に立って情報を集め、自分が 固執していた考えを打ち消す 証拠やデータがないかなども探してみると、面白い発見があるかもしれません。

なぜなら私たちの中には、「こうであってほしい」という思いに囚われ、その根拠を否定する情報にはなかなか目が向かなくなる性質があるからです。この心理は「確証バイアス」と呼ばれます。『デジタル大辞泉』によれば「自分の願望や信念を裏付ける情報を重視・選択し、これに反証する情報を ケイシ・排除する心的傾向」とあります。自分の思い込みによって視野が セマくなると、事実（確かな情報の ツミ重ね）よりも感情によって判断してしまいがちになるということです。

情報を中立的に比較する訓練に最適なトレーニングの一つが、ニュースや記事の読み比べです。一つのニュースを取り上げ、それがどのように書かれているか、複数の バイタイをつかって比べてみてください。

⑩ チョメイな評論家のコメントを取り上げ、対立する考えを探して比較してみるのもいいでしょう。次に、それぞれの情報の発信者の意図や目的をふまえ、確かな根拠があるか、論理的に間違っていないかを見定め、どちらが正しいかを、可能な限り中立的に判断するようにしてみましよう。

もう一つおすすめなのが、脳内ダイベート（討論）です。たとえば「消費税は不要である（または下げるべき）」とあなたが考えているのなら、「消費税は必要である（または上げるべき）」という 1 をたて、さまざまな情報源に触れてみてください。結果はどうでしょう。これまでのあなたの考えと、その反対の立場との間には、どんな溝があるでしょう。当初の考えだけではなく、両方についてももっと深く調べてみたくなりませんか。

（梅澤貴典『ネット情報におぼれない学び方』より）

問一 ―― 線①～⑩のカタカナは漢字に直し、漢字については読みかたをひらがなで答えなさい。

問二 1 にあてはまる言葉として、もっとも適当なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 客観的事実      イ 確証バイアス      ウ 真逆の仮説      エ 確かな根拠

問三 右の文章をふまえた上で、あなたはどのようなことを考えましたか。これまであなたが見たたり聞いたたりしたことを紹介しながら、四百字以内で書きなさい。

日本語作文

二〇二四年十二月八日実施

解答用紙

|   |   |
|---|---|
| ⑥ | ① |
| ⑦ | ② |
| く |   |
| ⑧ | ③ |
| み |   |
| ⑨ | ④ |
| ⑩ | ⑤ |

問

問二

問三

[illegible]

| 總 合 | 内 容 | 表 現 | 文 法 | 漢 字 |
|-----|-----|-----|-----|-----|
|     |     |     |     |     |

左のらんには  
記入しないこと

第 一 二 三 四 番

|     |
|-----|
| 氏 名 |
|     |